

「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

1. 概要

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17の考古遺跡で構成される。

北東アジアにおいて長期間継続した採集・漁労・狩猟による定住の開始、発展、成熟の過程及び精神文化の発達をよく示しており、農耕以前における人類の生活の在り方と、精緻で複雑な精神文化を顕著に示す物証である。

世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスから世界遺産一覧表に「記載」することが適当であるとの勧告がなされ、令和3年7月27日、世界遺産委員会において世界遺産一覧表への記載が決定された。

2. 構成資産

○北海道

かきのしまいせき きたこがねかいづか おおふねいせき
垣ノ島遺跡、北黄金貝塚、大船遺跡、

いりえかいづか たかさごかいづか しゅうていぼぐん
入江貝塚、高砂貝塚、キウス周堤墓群

○青森県

おおだいやまといせき たごやのかいづか さんないまるやまいせき
大平山元遺跡、田小屋野貝塚、三内丸山遺跡、

ふたつもりかいづか こまきのいせき おおもりかつやまいせき
二ツ森貝塚、小牧野遺跡、大森勝山遺跡、

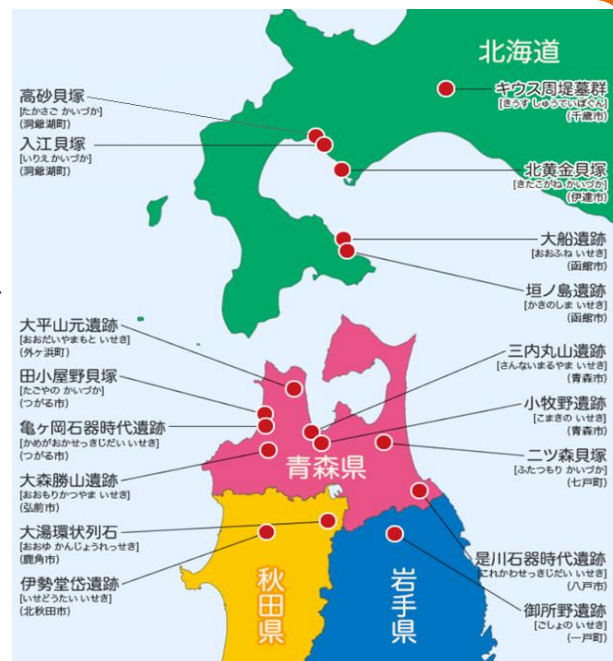
かめがおかせつきじ だいいせき これかわせつきじ だいいせき
亀ヶ岡石器時代遺跡、是川石器時代遺跡

○岩手県

ごしょのいせき
御所野遺跡

○秋田県

いせどうたいいせき おおゆかんじょうれっせき
伊勢堂岱遺跡、大湯環状列石



三内丸山遺跡



大船遺跡



御所野遺跡



大湯環状列石

3. これまでの経緯と今後のスケジュール(見込み)

2009年	暫定一覧表記載
2019年7月30日	文化審議会において、2019年度推薦候補に選定
2019年9月23日	ユネスコ世界遺産センターへ暫定版推薦書を提出
2020年1月16日	正式版推薦書を提出(文化審議会、世界遺産条約関係省庁連絡会議(外務省)、閣議了解を経て決定)
2020年 夏~冬頃	イコモスによる審査(現地調査と書類審査)
2021年5月26日	イコモス勧告(記載)
2021年7月27日	世界遺産一覧表に記載